

妙高チャレンジスキーキャンプ

- 開催日 2018年1月5日～1月7日
- 会場 国立妙高青少年自然の家（新潟県妙高市）
- ディレクター名 安齋 朱里（あんでいー）

■キャンプのねらい

- 雪のおもしろさを知る。
→「スキー」…滑る爽快感などを味わい、スキーを好きになる。
- 「雪」…固まる・掘る・朝と日中の雪質の違いなどを知る。
- 自分のことは自分でやる。
→生活面もスキーも、自分のやるべきことにチャレンジする。
「できた！」をたくさん積み重ね、自信を持ち帰る。

■同行スタッフ（キャンプネーム）

バルサン、ぴけ、かっち、わーら、ゆかっぺ、わか、かっぱ、ギータ、いちむー、ぼこ、まいまい、レッサー、オノディ

■活動内容

<1日目>
集合、施設到着
ブーツ・板合わせ
ゆったりタイム

<2日目>
朝のつどい
スキーレッスン①
スキーレッスン②
班対抗！新聞〇〇対決！
※大雪のため、予定を変更しました。

<3日目>
スキーレッスン③
施設出発、解散



妙高へ出発！初めましての友だちとも、すぐに仲良くなりました。



初めてのスキー。ブーツや板、滑る感覚を知りました。



夕食。みんなで楽しく、いただきます！



次やることは何かな？自分たちで確認しながら、生活タイム。



一日を振り返りながら日記書き。明日の目標は…と考え中です。



2日目はスキー場！たくさん滑って、スキーをもっと好きになろう！



午前中の間に全班、リフトに乗りました。



昼食はカレーライス。休憩タイムも大切な時間。



午後もスキー！ストックを置き、滑るときに足に集中します。



時間を見つけて雪遊び！雪のおもしろさに触れました。



夜のお楽しみ活動！「新聞タワー」。高いタワーができました！



「新聞リレー」。笑い声が響き渡る戦いでした。



「新聞電車リレー」。ちぎれないように、班の集中力の見せ所！



キャンプ最終日。部屋の掃除も自分たちで頑張りました。



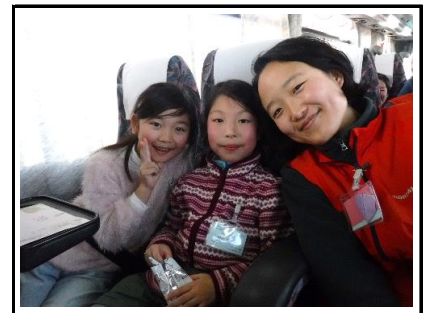
最後のスキーも楽しむぞー！



ビューンと飛行機のように滑り、ターンの練習。



大きい雪をゲット！スキーも雪遊びも、思う存分楽しみました。



新宿へ帰ります！またキャンプで会おうね！

■キャンプのエピソード

「キラキラしてる！」

2日目の午前中はとても晴れて、景色もきれいに
見える良いお天気でした。初めてのスキー、初め
てのリフトを体験したAちゃん。リフトに乗って
いたときに、とても静かだったので、「怖いのか
な？」と心配していました。すると突然、「きれい
！キラキラしてる！」と大きな声で興奮気味に
話しを始めました。雪が積もった場所に太陽の
光が反射し、ラメが散りばめられているかのよう
にキラキラと光っていました。それを見つけた
Aちゃんは、とても生き生きとしていました。
スキーの楽しさだけでなく、雪の見え方の違いも
知ることができたようで、私もうれしく思いま
す。“雪”のおもしろさを知り、冬特有の楽しさ
を覚え、またスキーがしたいと思ってくださる
と幸いです。

「ぼく、上手！」

初めてスキーをしたBくん。初日は、“板を履い
たら滑る”という感覚をドキドキしながらも楽し
んでいる様子でした。2日目のスキーレッスン、
スキー場で止まれないことが怖く、すぐに転んで
していました。「滑るのは楽しい、しかし
止まれないのは怖い」という気持ちをくりかえし
ながら練習を重ねました。そして最終日、2日目
の表情とは全く違う笑顔で滑る姿がありました。
止まることができるようになり、ハの字で滑るこ
とも上手になり、まるで別人のようでした。
「見て！ぼく上手！」と誇らしげに話すBくん。
「もっと滑りたかったー。」と言う姿を見て、
上達するには、楽しむ気持ちが一番の近道だと改
めて実感しました。スキーを通して得た自信を、
今後のスキーや日常に繋げてほしいと思います。